

議会改革検討小委員会、行財政改革特別委員会に対し流山市議会の視察を求める  
陳情

(議会運営委員会付託)

受理番号 第 130 号

受理年月日 平成24年11月21日

付託年月日 平成24年12月 4日

陳情者 . . . . .  
. . . . .

陳情原文 江戸川区議会の議会改革の一環として、Web中継や自治体システムのクラウド化の議論がされているのは存じていましたが、漏れ聞こえる声の中に、審査する区議会議員のデジタルディバイドに対しての知識が乏しいことを耳にしました。審査する側がこの状態では、議会改革を望む一区民として嘆かわしいと感じています。その上で、先進的にデジタルディバイドを駆使して地方議会改革を現在も進めている流山市議会に一度、視察を実施して欲しいと考えました。

本会議採決では、起立ではなくスマートフォン端末を使用した採決を実施、また、Webサイト内で議会に対しての改革意見を広く募集したり、議会の流れを分かりやすくした等、議員の側からも積極的にITソリューションを導入して、開かれた議会改革を推進している現状です。

ICTを進める上でも、まずは現場に行って現状把握と江戸川区議会で行う場合の比較をしっかりと進めて欲しいと願います。出来ない理由を並べるより、まずは出来る理由を見つける議論を区議会議員、区議会事務局に対して強く望みます。

つきましては、下記のとおり陳情いたします。

記

議会改革検討小委員会、行財政改革特別委員会にて流山市議会への視察を実施すること。(何故、議会改革へ舵を切ったのか、その過程を様々な人達へヒアリングし、その視察結果を、A4サイズ1枚の文章のみではなく、図画が入った文書を作成し分かりやすく説明すること。)